

## はじめに

PRIMERGY Appliance Server (PRIMERGY FileServer/WebServer) をご利用頂ありがとうございます。本書は、PRIMERGY Appliance Server に Microsoft 社公開の QFE モジュールを適用する際の手順及び留意事項に関してまとめたものです。QFE 適用に関しては、本書を充分参照の上適用頂けますようよろしくお願いいたします。

**背景** PRIMERGY Appliance Server は、Windows Powered OS を基本ソフトとして使用しており、Windows Powered OS は、Windows2000 Advanced Server/Server 英語版と同じリソースで構成されています。このため、本書の手順に従い Microsoft 社が提供する QFE を直接適用していただくことで、オンタイムなセキュリティ強化を実施することが出来ます。

なお、2002年3月までの必要な QFE は、PRIMESERVER WORLD のセキュリティアップデート V2.0 で対応済みです。適用対象となる QFE は 2002年4月以降にアップされた物になります。

- 免責事項**
- QFE 適用に伴う問題に関しては Microsoft 社のサイトを充分参照下さい。
  - Microsoft 社が提示している問題による機能障害に関して、当社はその責任を一切追いかねますのであらかじめご了承下さい。

## QFE 適用手順

**準備** ① インターネット接続が可能なマシンから、弊社セキュリティ情報サイト <http://software.fujitsu.com/jp/security/products-others/pcsos/index.html> に接続し、“Windows 2000/NT ユーザ向け”をクリックし、QFE の情報が提供されているか確認します。

② 日本語の記述を良く読み、登録された新しい QFE モジュールの必要性を判断します。適用の必要があれば同ページの詳細情報にある US サイトの URL をクリックし、Microsoft 社 US サイトにジャンプし、QFE モジュールをダウンロードします。

※ 英語版モジュールを必ずダウンロードして下さい。

※ QFE 適用前に、必ずテープ媒体などにフルバックアップを採取されることをお勧めします。

**適用手順** 言語の変更 (英語)

PRIMERGY Appliance Server は既に述べた様に、Windows 2000 Advanced Server/Server 英語版をベースとして、日本語化しております。このため QFE 適用時には、この日本語表示を "OFF" にして英語表示にする必要が有ります。

以下ではその手順について説明します。

- ① 同ページにあるダウンロードモジュールをダウンロードします。
- ② 自己解凍型のダウンロードモジュールをダブルクリックし、解凍します。
- ③ 解凍フォルダの README.txt から内容物を確認します。
- ④ 解凍フォルダ内のファイル一式を、PRIMERGY Appliance Server の共有フォルダにコピーします。
- ⑤ PRIMERGY Appliance Server の WebUI [メンテナンス] - [ターミナルサービス] をクリックし、サーバに管理者権限のあるユーザでログオンします。
- ⑥ [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] からコマンドプロンプトを起動します。
- ⑦ 共有フォルダの実パスにコマンドプロンプトで移動します。  
例) C:\%qfe を共有している場合  
C:\% > cd C:\%qfe [enter]
- ⑧ 英語化バッチファイル (English.bat) を実行します。  
例) C:\%QFE%\>English.bat [enter]
- ⑨ PRIMERGY Appliance Server を再起動します。

#### *QFE 適用*

PRIMERGY Appliance Server が起動したら、以下の手順で QFE モジュールを適用します。

- ① 先ほどの共有フォルダ（この場合は C:\%qfe）にダウンロードした QFE モジュールをコピーします。
- ② PRIMERGY Appliance Server の WebUI [メンテナンス] - [ターミナルサービス] をクリックし、サーバに管理者権限のあるユーザでログオンします。
- ③ Windows Explorer を起動し、共有の実パスに移動します。
- ④ QFE モジュールをダブルクリックし、QFE を適用します。
- ⑤ 適用が完了したら、PRIMERGY Appliance Server を再起動します。

※適用 QFE モジュールが複数存在する場合は、上の①～⑤の手順を繰り返して行います。

#### *言語の変更 (日本語)*

English.bat で変更した言語を日本語に再設定します。

- ① PRIMERGY Appliance Server の WebUI [メンテナンス] - [ターミナルサービス] をクリックし、サーバに管理者権限のあるユーザでログオンします。
- ② [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] からコマンドプロンプトを起動します。（この場合画面のメニューは英語で表示されます。）
- ③ 共有フォルダの実パスにコマンドプロンプトで移動します。  
例) C:\%qfe を共有している場合  
C:\%>cd c:\%qfe [enter]

- ④ 日本語化バッチファイルを実行します。  
 例) C:\¥qfe> japanese.bat [enter]  
 ⑤ PRIMERGY Appliance Server を再起動します。

## Appendix

QFE 適用が予想されるモジュール及びサービス一覧

**Table 1: PRIMERGY Appliance Server Services**

	PRIMERGY WebServer V10L10	PRIMERGY FileServer V10L10	PRIMERGY FileServer V11L10
インデックス サービス	×	○	○
ターミナル サービス	○	○	○
IIS	○	○	○
FTP	○	○	○
SMTP	○	○	○
telnet	×	○	○
Macintosh 用 ファイルサー ビス	×	○	○
SNMP	○	○	○
ハイパーター ミナル	×	○	○
Persistence Storage Man- ager (スナップ ショット)	×	○ (V2.0)	○ (V2.1;V212 1)
SFU (Services for Unix)	×	○ (V2.1)	○ (V2.2)
SAK2.0 (Server Appliance Kit)	○	○	○

---

## ご参考

詳細なインストールサービス 適用サービスの詳細については、本体添付のマニュアルの「付録 デザインシート」を参照して下さい。

以上